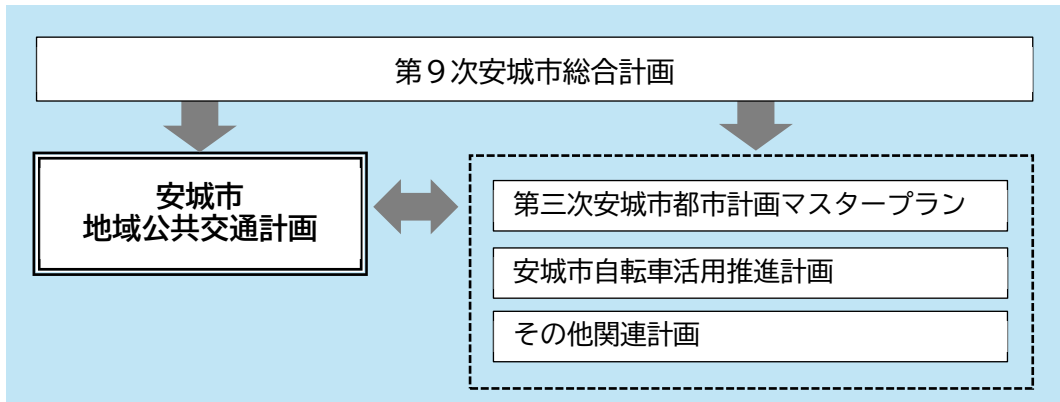


次期安城市地域公共交通計画 策定の方向性について

1. 計画の位置づけ

計画の策定にあたっては、第9次安城市総合計画や第三次安城市都市計画マスタープラン、安城市自転車活用推進計画等の上位・関連計画との整合を図ります。



2. 次期地域公共交通計画の方向性

(1) 策定の方針

全国的に地域の公共交通は、少子高齢化による運転手不足の深刻化や、燃料費の高騰などによる運行経費の増加などの課題により、サービス供給側の視点から、地方公共団体ごとの個別最適を図る対応だけでは持続性に限界が生じることが懸念されています。(国土交通白書 2025 p31 参考)

一方で、安城市地域公共交通計画（以下、「現行計画」）では2024（令和6）年度の利用状況を「中間目標値」として設定しており、その評価結果は全体で102.1%と目標を上回る結果となりました。2025（令和7）年度においても、堅調に増加しています。

このことから、市民の足として定着し、受け入れられている本市の公共交通ネットワークを、将来に渡って持続可能なものとするため、次期安城市地域公共交通計画（以下、「次期計画」）においては、公共交通が目指す姿など、大きな変更・再編を見込まず、現状を基本とした事業の展開を予定しています。その中で、行政や交通事業者だけでなく、公共交通に関係する全ての方との連携による、利用促進策や、利便性向上策の実施及び見直しをしていくことを想定しています。

※表1 2024（令和6）年度 中間目標値達成状況

	2024年度 中間目標値達成状況		2024年度 中間目標値達成状況
全体	102.1%	あんくるタクシー	126.5%
鉄道	102.2%	一般タクシー	83.6%
路線バス	108.2%	レンタサイクル/ シェアサイクル	309.6%
あんくるバス	116.7%		

※表2 2025（令和7）年度/2024（令和6）年度 の利用者増加率

全体	105.1%	あんくるタクシー	343.6%
鉄道	104.7%	一般タクシー	111.4%
路線バス	103.3%	レンタサイクル/ シェアサイクル	237.1%
あんくるバス	107.1%		

(2) 公共交通が目指す姿

現行計画で掲げている「公共交通が目指す姿」は、長期的な視点で定めていることから、次期計画においても引き続き安城市の目指す姿としていきます。

公共交通が目指す姿

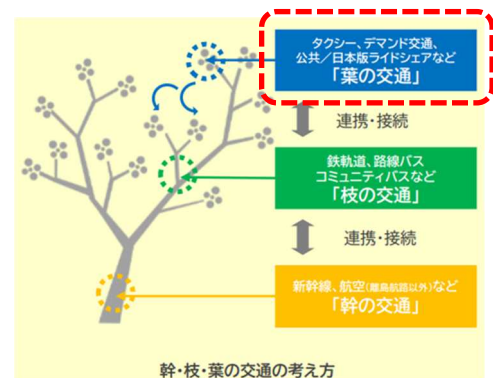
日常生活になじむ公共交通を みんなが利用することによって、 気軽におでかけできるまち

- 誰もが安全かつ快適に移動できるまち
- 持続可能な公共交通ネットワークが確立されたまち
- 地域住民・行政・交通事業者等、地域が一体となって公共交通を育むまち

(3) 計画のアップデート

① 「葉の交通：地域内交通」の検討

市民アンケート調査・バス利用者アンケート調査といったニーズ調査の分析や、地域へのヒアリングなどを通じて、どの地域で・どのような人が・どんな移動で困っているかを確認し、現状の公共交通体系よりも細やかな地域内交通について、地域と連携・協働して検討を進めます。



(資料：国土交通省『地域公共交通計画の「アップデートガイダンス Ver1.0」』)

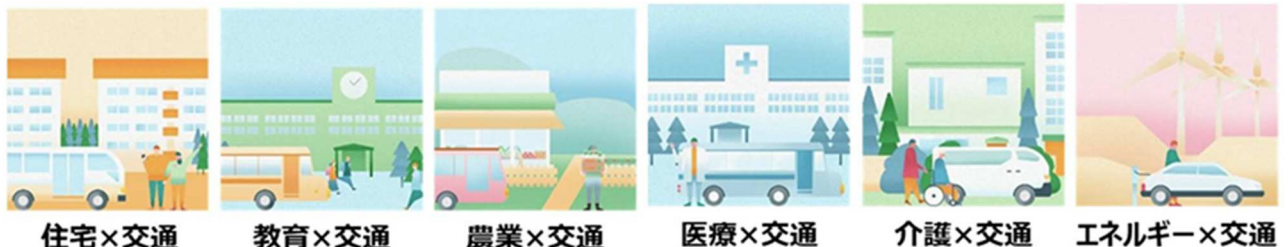
② 地域の多様な関係者との「共創」と他部署との「連携」

現行の安城市地域公共交通計画では、地域（学校・地域住民・商業施設等）と連携・協働した公共交通の利用促進策について取り組んできました。

次期計画においては、公共交通のクロスセクター効果等にも注目し、こうした取り組みをアップデートすることで、地域の多様な関係者と公共交通を共に創り・育む取組みを展開・推進します。

また、現行計画では視点として取り込めていなかった他部署と連携し、「移動」に困っている人に届く施策の検討・実施を進めます。

交通・他分野間の共創（地域交通と、様々な他分野との垣根を越えた事業連携を実現）



(資料：国土交通省『地域の多様な関係者との「共創」による地域公共交通の「リ・デザイン」について』)